

## 攪拌炉用ファン取扱説明書・注意書

本取扱説明書は、攪拌炉用ファンに関して記載しております。  
添付の直動式送風機取扱説明書・注意書と両方をお読みいただき、  
安全にご使用ください。

尚、直動式送風機取扱説明書の8.(6頁)周囲温度と吸気温度について  
12.(10頁)吐出方向の変更について は、省略してお読みください。

### [目次]

1 . 納品時のご確認について . . . . .	1 頁
2 . 周囲温度と吸気温度について . . . . .	1 頁
3 . 安全・最適にご使用いただくために . . . . .	2 頁
4 . 設置手順について . . . . .	4 頁
5 . 羽根車交換手順 . . . . .	6 頁
6 . 仕様 . . . . .	7 頁
7 . 補足 . . . . .	7 頁

### 1. 納品時のご確認について

ご注文どおりの製品かご確認ください。  
輸送中の〔破損・変形〕など異常がないかご確認ください。  
付属部品に欠品はないかご確認ください。  
本梱包に含まれているものは、下記の通りです。

- ・ 本体(電動機部+羽根車 組込)
- ・ ケーシング部
- ・ ケーシング固定用ボルト・ナット  
(ボルトM8×25 4本、ばね座金付ナット4個)

### 2. 周囲温度と吸気温度について



**注意**

周囲温度 . . . - 10℃以上 40℃以下  
吸気温度 . . . - 10℃以上 300℃以下  
運転開始時は常温にて運転を開始してください。又、運転を停止する際は、  
吸気温度が 120℃以下になってから停止してください。

### 3. 安全・最適にご使用いただくために

**⚠ 注意**  
(1)

円筒外部に人が触れるような設置環境にある場合は必ず円筒外側に断熱材を巻いてください(断熱材はお客様にてご用意をお願いします)。火傷する危険があります。断熱材を巻く際、図1のように中間冷却ファンの周りにはあけてください。冷却風の流りが妨げられ電動機が十分に冷却されず、電動機が焼損する恐れがあります。

\*断熱材をご用意される際は、図1の寸法をご参照ください。

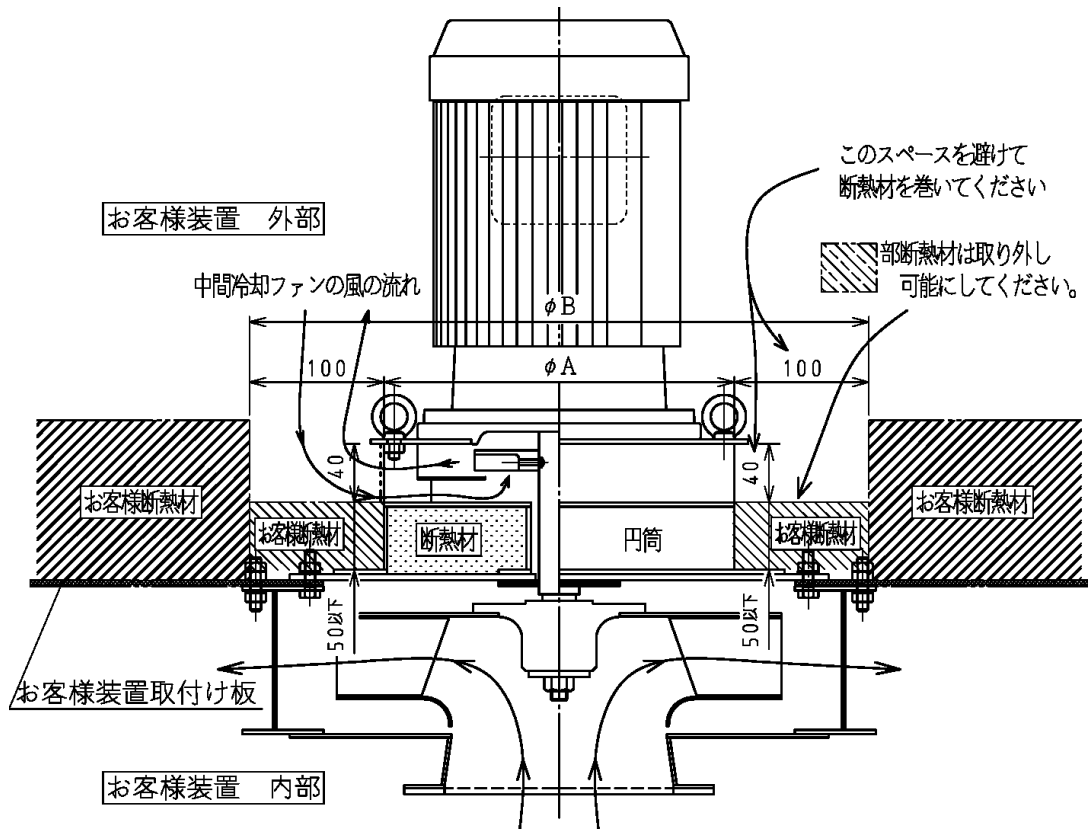


図 1

品名	WE-H04	WE-H07	WE-H15	WE-H22	WE-H37
A	255		350		330
B	455		550		530

(2)

性能値はお客様装置取付板の板厚が 4.5mm での値を示します。板厚は 4mm ~ 9mm ま  
で取付け可能ですが、他の板厚の取付板を使用した場合、風量・静圧などの性能が  
低下します。



(3)

本体を床に置く場合には横向きに寝かせてください。羽根車を下にして置く、又、  
冷却ガードを下にして置くなどの縦置きはしないでください(写真1 悪い例)。部  
品損傷につながる恐れがあります。また、横置きにする際は、転がり防止のために  
木片などをかまして動かないようにして下さい。(写真2 良い例)

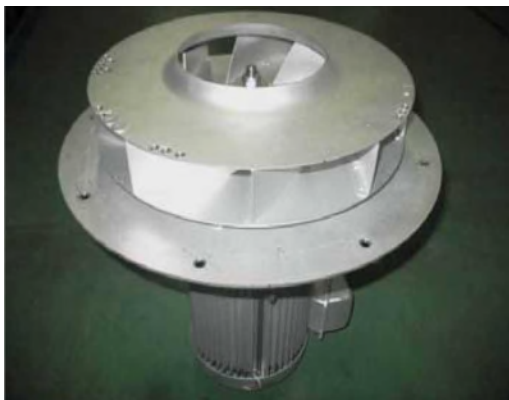


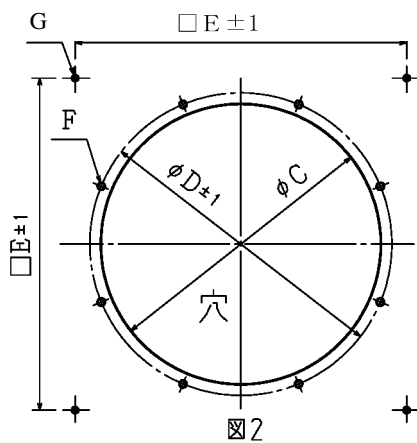
写真1 (悪い例)



写真2 (良い例)

## 4. 設置手順について

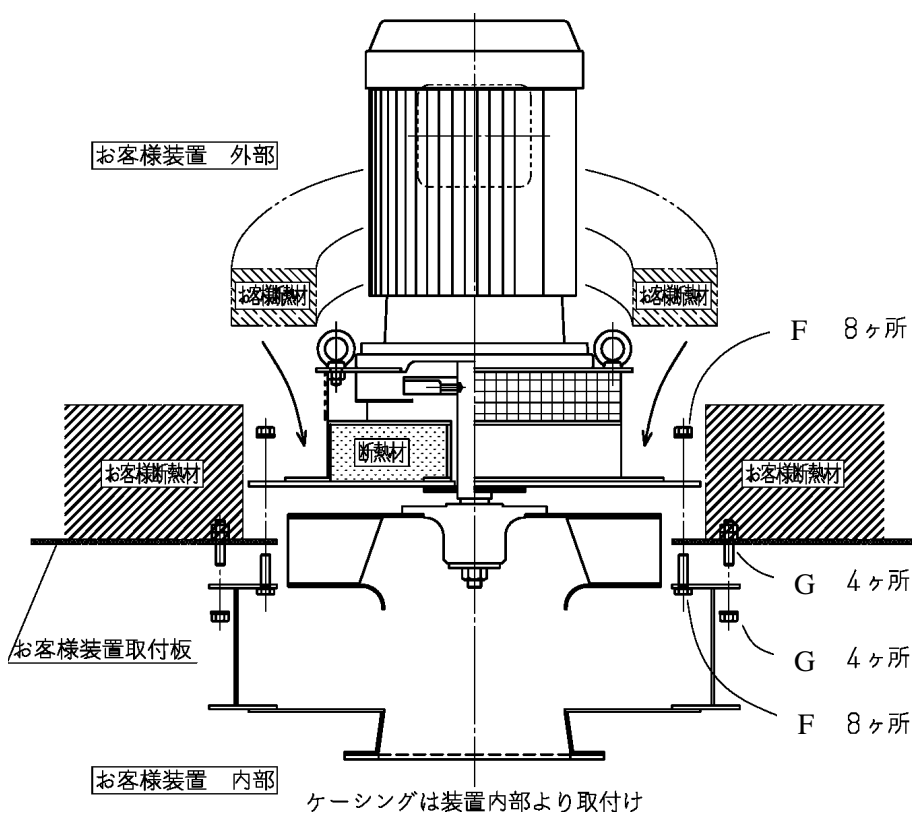
(1) お客様装置の取付板に、あらかじめ穴をあけておいてください。(図2参照)



品名	WE-H04	WE-H07	WE-H15	WE-H22	WE-H37
C	265	290	350	380	425
D	285	310	370	410	450
E	300	330	400	450	530
F	8-φ10				
G	4-M8				

以下の設置手順については図3をご参照ください。

電動機は装置外部より取付け



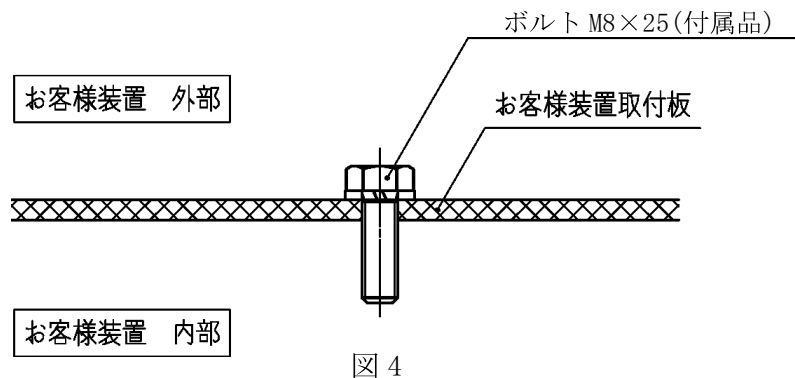
ケーシングは装置内部より取付け

図3

(2)

図2のG部のM8のタップに、装置外側より付属品のボルトを固定してください。

(図4参照)



(3)

装置内側より(2)で取付けたボルトにケーシング穴を通し、付属品のばね座金付ナットで固定してください。(写真3参照、装置内側より撮影)同時にケーシング側に溶接されているボルトをF部のピッチ穴に通してください。(写真4参照、装置外側より撮影)



写真3 (G部 ナット 4ヶ所)

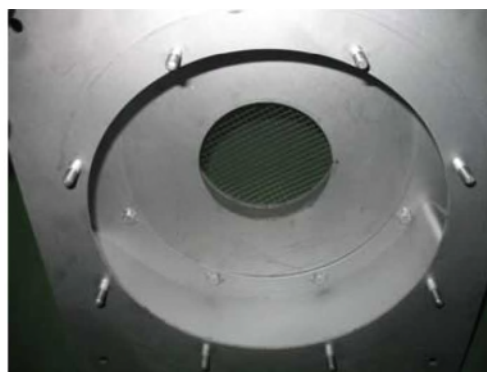


写真4 (F部 ボルト 8ヶ所)

(4)

装置外側より本体を取付け、F部のボルト部分を、ばね座金付ナット(※)で固定してください。(写真5参照) ※出荷時に取付けているナットを再利用ください。



写真5 (F部 ナット 8ヶ所)



**注意**

羽根車をケーシングの中に入れる際、ケーシング内径などに当たらないようにしてください。異常振動の原因となる恐れがあります

## 5. 羽根車交換手順

### (1) 羽根車取外し手順

羽根車を固定している止めナットを緩め、軸端ワッシャ、羽根車を取外します。

羽根車を取外す際、下記のような羽根車抜き治具を使用していただくと取外すことができます。(図5参照)

- ① 固定ボルト 2本を支え板に通し、ハブに固定します。
- ② 押し込みボルトを支え板に通し、軸端に当てねじ込んでいくことにより、ハブが手前に引き寄せられ取り外せます。

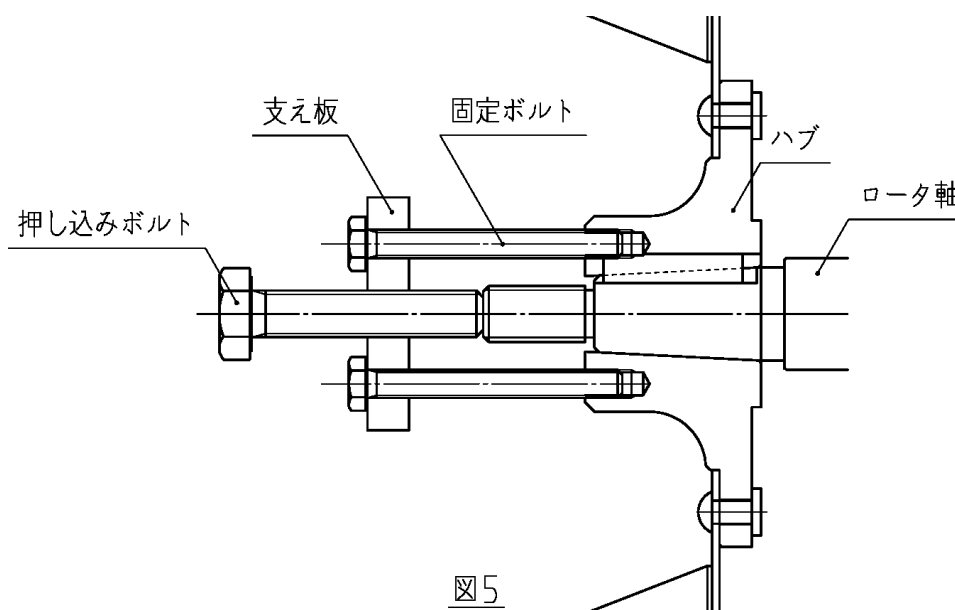


図5

羽根車抜き治具を用意される場合の推奨寸法を下記に示しますので参考にしてください。

(図6参照)

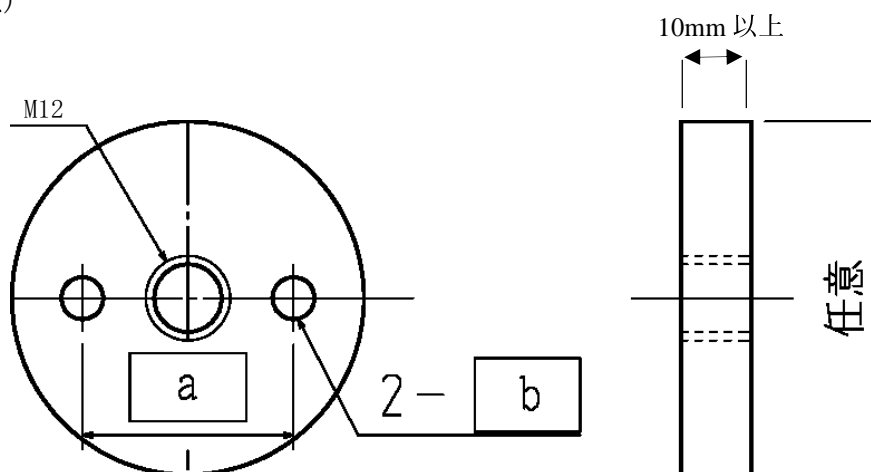


図6

品名	WE-H04	WE-H07	WE-H15	WE-H22	WE-H37
a	30		40	45	
b	φ7		φ9		
固定ボルト	M6	長 50	M8 長 50		
押し込みボルト	M12 長 50				

(2)羽根車取付け手順

羽根車取外し方法と逆の手順で、羽根車、軸端ワッシャ、Uナットの順に取付けてください。(図7参照)

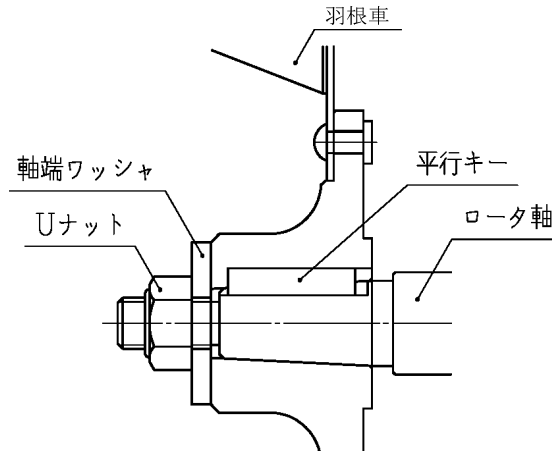


図7

羽根車固定用Uナットの締付けトルク範囲は下記の値となります。

品名	WE-H04～WE-H22	WE-H37
締付トルク N・m (ナットサイズ)	36～48 (M12)	92～124 (M16)

**⚠注意**

羽根車を固定する際、納品時に取付けていますUナットをご使用ください。

他のナットを使用すると羽根車緩みの原因となります。

羽根車取付けの際、ロータ軸とハブのはめ合い部やねじ部のごみやさびなどをきれいに取り除いてください。部品の損傷につながる恐れがあります。

**6.仕様**

品名	WE-H04	WE-H07	WE-H15	WE-H22	WE-H37
電源	三相 50Hz 200V / 60Hz 200V / 60Hz 220V				
出力 kW	0.4	0.75	1.5	2.2	3.7
電流 A	2.3/2.3/2.1	3.4/3.3/3.1	6.1/6.3/5.9	9.4/9.6/8.9	15.1/13.7/12.9
質量 kg	34	36	51	57	76

**7.補足**

直動式送風機取扱説明書の **16. (15頁)保守点検について** に記載しています軸受

グリースと本攪拌炉用ファンで使用しているグリースが異なります。

攪拌炉用ファンに使用する軸受グリースの種類を下記に記載します。

	【スキマ】	【グリース】
負荷側軸受	C 3 スキマ	ジウレア系グリース
反負荷側軸受	C 3 スキマ	

**SDG株式会社**

<https://www.sdg-eng.com>

